

江工会会報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話(代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

変革の年を迎えて

会 長 室 安 延 博

(建築科昭和三十一年卒業)



会員の皆様、
明けましておめでと
うございませ
す。

健やかに新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

昨年(2010年)の世界的動向は、新春には米国の於いてバラク・オバマ新大統領が誕生し変革(チェンジ)を旗印に民主党新政権がスタートしました。またG.M.クライスラーの破綻。北朝鮮が6カ国協議の離脱。イラクからの多国籍軍の撤退。E.U.新基本条約が発行などが有りました。国内に於いては、衆議院選挙で米国と党名も同じく民主党圧勝の政権交代。新型インフルエンザの大流行。急激な円高デフレ株安。企業業績悪化。等々例年にも増して慌ただしい変革の年でありました。

我が母校に於いては、文部

科学省の「めざせスベシヤリスト」事業も最終年度を迎え仕上げの年で3年間の成果と事業の定着が期待されます。近年の不況に伴う産業界の低迷する中で卒業予定者の就職内定率は12月末で98.1%と不況の中で有つても学校長はじめ諸先生のご尽力で進学生を含め100%に近い実績で有りました。

これも各地域で活躍される江工会の先輩諸氏のおかげも多々有る事と喜んで居るところです。恒例の世相を表わす漢字は「新」が選ばれました。会員の皆様には、全てに新しくチャレンジされ不撓不屈の精神でご活躍されます事を念願いたすと共に各支部のご発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。

ご挨拶

校長 濱 田 清 行



江工会員の皆様には、新春をお元気で迎えるのとお慶び

申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

不景気また政権交代と大きな出来事が起こった昨年でありましたが、本校の教育活動は中身及び出口とも順調でした。ただひとつ、入口において入学者数減という大きな問題点がありました。今年こそは、入口も満足いく結果を出そうと努力していきます。

さて教育活動の中身として、昨年度から引き続き二年目を迎えた「目指せスベシヤリスト(スーパー専門高校)」への取り組みを基軸として、様々な活動を実施しました。

コミュニケーション能力の育成のために、異年齢交流を積極的に推進しました。企業の方、大学生、小中学生、園児の皆さん方と、「人の話を聞く。自分の思っていることを話す。」ことを行いました。まずは大きな声での挨拶から

始まりました。次にふるさとに愛着を持つために、地元の研究をしました。建築科は、江津本町の歴史的建造物を活かした街づくりの提案。機械科は、自動車関連の新技術の調査研究。総合電気科は、江津に建設された風車を中心として新エネルギーの調査研究。

そのためには、一流の技術を見る必要があるという思いから、建築科は伊勢神宮や京都市内へ、機械科は愛知県の下ヨタやデンソーへ、総合電気科は山梨県の太陽光発電施設へ出かけました。

学習面だけではなく、部活動にも積極的に取り組んでいます。昨年のインターハイには満足のいく結果が出せず、出場者がなかったのですが、今年の沖縄インターハイには



島の星山(星高山)から展望

多くの部が出場してくれるものと信じています。そのさきがけとして、今年三月の選抜大会には、弓道部男子個人、ボート部男子シングルスカルとダブルスカルが出場します。

次に出口ですが、昨年は四割が進学、六割が就職となりました。就職は、不景気で求人数が昨年度の半分以下に落ち込む中、現時点で一人を除き内定を得ています。これもひとえに卒業生の方々のお陰だと思っています。直接、卒業生の方から声をかけていただき、内定を頂いたというケースもありました。本当にありがとうございます。進学は、昨年に引き続き国立大学への合格者を出しました。また、江津市へ人材を残すということから、島根職業能力開発短期大学校（通称、ごうつポリテクカレッジ）への進学者が増えました。

最後に、新任の教頭を紹介いたします。昨年三月に岩井省悟教頭の退職を受け、四月に舟木健教頭が赴任しました。生まれは桜江町で新進気鋭の優秀な人物です。彼と二人で、江津工業高校をより一層発展させていきたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願いたします。

末筆になりましたが、江工会がますます充実発展されることを願うとともに、皆様方のご活躍とご健康をお祈り致します。



関東支部

ご挨拶

役員 千代延 勝彦
(建築科 昭和四十九年卒業)



新年明けましておめでとうございませう。江工会会員の皆様には、厳しい経済情勢の中希望と期待に満ちた 2010 年の新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は政権交代のあおりもつけ、不況にさらに追い討ちをかけるような情勢で、景気の上向きがなかなか望めない情勢ではありますが、会員の皆様におかれましては産業戦士として日々ご活躍されておられることと存じます。私事

では有りますが、建設業界は近年さらに厳しい状況下でいかに工事受注できるか日々悩みつつ奮闘している状況です。

関東支部におきましては現在千名以上会員登録が

ありますが、個人情報・情報セキュリティの関係上正確な把握が出来ず、会も高齢化し総会の出席も年々減少しつつあるのが現状となっております。若い方や中堅の方をいかに会に引き寄せるか、各支部でも課題になっているのが現状ではないでしょうか。支部ではゴルフ・釣り・登山散策などの同好会を開催し友好関係を広める努力をしておりますが、会員が集まりません。30 から 40 歳台の方に、各分野で活躍されている諸先輩方との情報交換がいかに重要で、今まで蓄積されたノウハウを後輩に伝承していく重要性を伝えることに趣をおき、徐々に会員を増やしていくことに尽力していきたくと思っております。この会報をご覧になられた方で住所を変更された会員の方をご存知の方は是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。

共に、母校の更なる発展を祈念申し上げます。
(支部HPにアクセスし掲示板でご意見をお聞かせ下さい)



関西支部

健康第一

支部長 橋目 福司
(建築科 昭和三十九年卒業)



江工会の会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年も政治・経済などめまぐるしく変化しましたが、会員の皆様には動じることなく新年を迎えられた事と思います。

ましたが、正式に案内を送付しての同窓会は今回初めてのことで。四十六年間、交流の無かった空白の期間をうめるには『誰かがやらないと』

このまま一生会うことなく終わってしまうのではと余りにも寂しく思い、有志数人で企画し浜田の千疊苑での開催にこぎつけました。

遠くは千葉・石川・京都・大阪から参加してくれて総勢十八人となり、昔話に花をさかせ四十六年の空白を感じず夜の耽るのも忘れて語り合い、再会を約束して散会しました。(毎年開催の予定) 同窓生の中にはバリバリの健康な人、大病を経験した人、現在治療中の人等様々でした。

ハイキングをされておられる会員の方は多数おられると思いますが、私は昨年初めてハイキングに挑戦しました。四国の剣山・奈良県吉野(桜で有名)の奥千本を秋の紅葉を見ながら歩きました。何故突然ハイキング? 健康のためにフィットネスクラブに通いはじめて三年、体力がどのくらい付いたかを確認してみようと思いついたのがきっかけです。(関西支部の皆さん一度歩いてみませんか!) 高齢化社会とはいえ、還暦

を迎えてもまだまだ現役で頑張っておられる会員も多数おられない健康の有難さを、今一度考えて頂き健康を維持する対策を今からでも遅くは有りません、始めてみては如何でしょうか。

関西支部は今年で五十四回を迎えます。我々支部役員は、これを途絶えることなく継続することが最も重要なことと考えます。今まで蓄積されたノウハウを後輩に伝承して頂く意味でも支部総会には是非参加して頂きたいと思えます。毎年このことですが、関西支部では総会の案内発送数が年々減少しています。住所変更の連絡が無い為に案内が返送されるが多くなっております。昨年の発送数は三一〇名となっており、同窓会を計画されているグループが御座いましたら総会を兼ねての開催をお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に、今後とも関西支部の活動にご指導・ご協力をお願い致します。



校歌の大合唱



二次会にて

山口県支部

新年を迎えて

支部長 吉崎 錦明
(建築科 昭和三十一年卒業)



会員の皆様
明けましてお
めでとうござ
います。ご健
勝にて新年を

お迎えのこととお慶び申し上げます。上田博祥前支部長の後を引き継いで支部長に就任致しました。皆様のご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

げます。

さて、世界の不況の波が我が国にも押し寄せ、非常に厳しい社会情勢となっており、政治も自民党から民主党に変わり、税の無駄使いの是正、補助金の削減、ダム建設の中止、普天間基地の問題、赤字国債等、これからの国が進む方向が懸念されています。昭和五十五年以前の木造住宅は旧建築基準法で建設された建物で地震に対しての安全性が懸念されています。昭和五十六年以降の住宅は新基準法によって建設された住宅は安全性が確保されています。地震国である我が国は安心して住めるように旧宅耐震補強するように法的に誘導してはどうでしょうか。住宅建設は土木、木材、屋根、外壁、内装、電気、給排水設備など多くの職種の景気浮上につながると思えます。木材に関しても、地産地消、間伐、枝打ち、植林と山を育てる一環したシステム造りを国の指導で行うべきだと思えます。

水資源と漁場の確保、豪雨による災害防止一〇〇年の計で山を守って欲しいと思えます。景気浮揚対策と国民が安心して住める福祉社会と、若者

が夢と希望の持てる国になるよう政治が誘導して欲しいと願っています。

江工会の山口県支部の支部長を昭和三十九年から昭和五十九年まで、永く勤められた細野 毅先輩は昭和十二年木工建築科を卒業された第一期の卒業生です。昭和十二年は私の生まれた年です。今年七十三歳になりますが、母校の永い歴史の流れに深い感銘をおぼえます。

最近卒業生が山口県に就職していないようですが、江工会も高齢化が進み総会の出席者が減少傾向にあります。現在九州支部は参加頂いておりますが、広島県西部、島根県西部に輪を広げたらと思えます。会員相互の親睦と絆を深め、魅力のある楽しい総会にして出席者の減少を食い止めたいたいと思えます。

来年は江工会山口県支部総会は記念すべき第五十回を迎えます。私案ですが、母校を訪ねて水族館アクアスを見学して有福温泉か旭温泉で総会を開催する一泊旅行の計画を考えて居ます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

益田支部

益田支部総会に参加して

真庭 牧 男
(建築科 昭和五十九年卒業)



去る平成二十一年度の江工会益田支部の総会と懇親会が、参加者二十七名に

て十一月十三日に益田の三好屋にて行われました。併せて当日の昼に、萩石見空港カントリークラブにてゴルフコンペも行われ、世代を越えた先輩後輩の友好を温めました。総会・懇親会には江津工業高校教頭、江工会会長、江工会事務局に参加していただき、現在の学校の様子を報告してもらいました。毎年の事ながら、会の面倒や手配、段取りをしていただく諸氏先輩方に変感謝いたします。

私自身、益田あけぼのライオンズクラブという奉仕団体に在籍させていた、たいしているのですが、不景気になるとなかなか活動に参加できなくなったりするようです。こういう時節柄ですので、しかたがないことではあるのですが、特に若い方はこういう時こそ普段なかなか会えない先輩方に、



校歌(応援歌)の大合唱

相談したり意見を聞いたりするよい機会だと思っておりますので、次回はもつとたくさんさんの参加があれば、会もますます盛況になっていくと思っております。

ゴルフコンペは八名の参加がありました。みなさんも何とか都合をつけて参加していただきたいと思います。ゴルフをされない方もおられますので、何かゲーム(グラウンドゴルフ等)をしたらどうかとも考えますので検討が必要だと思えます。取りとめもなく意見だけ言わせていただいたようにも思えますが、江工会益田支部の益々の発展を希望しているからです。

最後になりましたが、江津工業高校教頭、江工会会長、江工会事務局、学校関係者の皆様のご活躍と母校の更なる発展をお祈りいたします。また、今後とも益田支部へのご支援・ご協力をお願いいたします。まして報告といたします。

弥栄支部

餅にたとえて

支部長 三浦 寛 章
(機械科 昭和五十一年卒業)



新春を迎え、江工会の皆様には益々ご健勝のことと存じます。

昨年につき、本年もますます厳しい年となりますが、宜しく申し上げます。

早いもので、弥栄支部は二十四回目の総会を控えています。昨年は選挙等があり、支部活動の開催が出来ず、総会のみと成りました。本年は親睦会等で、二十五周年へ向けての準備を進めて参りたいと思っております。

我が家でも、年末恒例の餅つきを行いました。昔は、白で早朝より家族総出で行っていました。近年は機械に頼りの餅つきになり、杵つき餅を懐かしく思います。杵でつくると、とてもきめが細かく食感もよく、たらふく食べた思いがよぎります。つきかたもそうですが、丸めるときの手もみ作業(愛情が入る?)が、一味違う物になっていた記憶があります。オール機械化に

より、人の手を加えないでカビの生えない餅も良いですが、人の手の加わった温かい餅もいまは懐かしく思います。

社会・企業におきましても、餅は餅で色々あります。今は、どちらを選ぶか選択できずにいる状況です。杵つき餅は懐かしく美味しい、機械つき餅はきれいで日持ちする。

今年は、どんな餅でも餅は餅の精神でこの難局を乗り越えて行きたいです。

江津支部

大変厳しい就活取り組み、学校の大変な努力で全員の進路に目途を!

事務局 横田 学
(工業化学科 昭和四十三年卒業)



非常に厳しい経済環境の中、本年度卒業生の就職はほぼ満額に近い内示を頂く所まで取り組んでこられました。濱田校長始め先生方のご努力に心から感謝申し上げます。

江工会の皆さん方にも地元を含め就活にご理解とご協力を頂きました。特に東京の小笠原設計事務所の小笠原社長には、早くから採用内定を頂いているのに係らず、更なる採用をお願いし、面接のためわざわざ学校までご足労頂き、採用試験をして、内定を頂きました。大変厳しい環境の中でのご決断には頭が下がりますし、江工会の仲間として感謝感激です。

昨年度の重点取り組みについて

① 文部科学省の「目指せ スベシヤリスト」支援取り組み



① 文部科学省の「目指せ スベシヤリスト」支援取り組み



⑤ 江工会関東支部の小笠原設計事務所 江津事務所 開設サポート

⑤ 江工会関東支部の小笠原設計事務所 江津事務所 開設サポート

- ② 江工会メンバーの相談事(就職・福祉施設・何でも)ホロ
- ③ 関東支部・関西支部年次総会出席
- ④ 先進地視察 一月十三、十六日 佐々岡先生と 北上市・宮古市・長井市 産学官連携視察(黒沢尻工業高校・長井工業高校)



まだまだ厳しい経済状況が続くと思えます。来年度の就職活動も大変厳しさが予測されます。江工会の力が今試される時だと思えます。江工先輩の皆さん何でも結構ですので情報をください。宜しくお願い致します。

江津市役所支部

近況報告

支部長 大井 恭二
(建築科昭和四十五年卒業)



一昨年江津支部の発足に伴い市内の職域グループが江津支部の下部組織として横断的な連携を強化し、支部の活性化を図る目的で組織の改編がされました。

前池田支部長からバトンを受け「名ばかり支部長」として一年が経過しようとしていきます。会員の減少に頭を悩ませ数年後にはグループの存続さえ危惧しています。

私が市役所に入所した当時は江工OBも多く、市幹部の殆どを占めるなど、名実共に市政を運営していた、かつての勢いは団塊とも言われた職員の大量退職により衰退の一途であります。

績やご苦勞に報いる為にも、気持ちには「不撓不屈」の精神で市政の発展に少数精鋭ながら頑張っています。

江津市は今、人口減少と少子高齢化が急速に進み地場産業の窯業や瓦産業の倒産・統合、又経済不況が続く中で、基幹産業の建設業や誘致企業の縮小・撤退等も相まって地元経済は疲弊の一途を余儀なくされる状況が続いており悩んでいる所です。このような状況の中、「第五次総合振興計画」を策定し「若者の定住」をキーワードに様々な事業に取り組む打開に努めているところでありますが、この度、文科省のモデル事業、「目指せスベシヤリスト」(スーパー専門高校)に我が母校が指定を受け、ふるさと江津に愛着をもち優れた工業人の育成輩出をして地元企業の存続や高度化を支援する人材育成を図る目的で事業化されたユニークな事業も試行されています。このような取り組みが功を奏し、

将来母校の卒業生の多くが地元に残り、本市の活性化に役立ってくれる事を切望しています。

最後に我が母校の益々の発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ近況

報告といたします。



江工会市役所支部総会



石見神楽アトラクション



六月六・七日

工業化学科昭和三十七年卒

(八期)

大阪「パナソニックリゾー
ト大阪」にて開催。十一名

参加。

『四十七年振りの再会 質実剛健 百歳まで元気に!』六月の関西支部総会の案内を受け、総会当日の夕方から同窓会と併催を計画した。関東、関西在住のメンバー二十一名に急速連絡。音信不通の四十七年ぶりだがなんと十名及び紅一点、一人奥様の参加もあり十一名が参集、約五十%の出席になった。会場は格安の会員の健康保険保養所を利用して好評を得た。又、有難かったのは恩師の安藤先生(八十四歳)も矍鑠とされてご臨席。恩師は卓越した書道の筆で陶淵明の詠う百歳まで元気に人生を謳歌しよう!を扇子に題し



に題し
檄が飛んだ。同期は三十五年もの余命があるのだ。大きな感銘を受け、ライフスタイルへの反省にもなった。参加した仲間の一人は最近口頭障害で発声不能、ハンディを負いながらリハビリ

中で筆談での懇親。遅いく全員が勇気をもらった。クラスの物故者七名は多いが、冥福を祈りつつ、各業界、官公庁などでの尊いキヤリアを生かした面々。力強い再会を誓い合った。次回は全国のクラス会として関西支部のアドバンス・ご支援も頂きながら強固なIT利用、ネットワークの再構築も考えて、元気に同窓会の開催を誓い合って閉会とした。

幹事 吉川 勝敏



37C 恩師を囲んで関東関西の仲間

六月九・十日

機械科昭和三十二年卒

(八期)

滋賀県大津市「アヤハレークサイドホテル」にて開催。十九名参加。
ミシガン号による琵琶湖半

周クルージングなどを楽しみました。



32M ミシガン号をバックに

六月二十日

電気科昭和三十八年卒

(三期)

「まめなか会」京都「平新」にて開催。十九名参加。卒業後、はじめてのクラス会を還暦の年に浜田市の「きんたの里」で開催しました。長島(大屋)勝、竹林静雄さんが幹事でした。初回の為、名簿作成を含めて準備には大変苦労されました。

昨年(平成二十一年)六月には京都で開催しました。石田 巨さんが幹事で、二条城、京都御所、清水寺、北野天満宮等を見学しました。初参加で名前を思い出せない人もいましたが、宴会が始まる頃にはお互いに名前と呼ぶようになりまし

た。深夜まで昔話に花が咲いていました。

平成二十二年は箱根方面で計画中です。幹事は井上博義、半田武晴さんです。一人でも多くの参加があるように期待しています。

寄稿 勝田 友治



38E まめなか会同窓会

事務局だより

平成二十一年一月から十二月

(二〇〇九年(平成二十一年))

二月一日

会報第四十三号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現旧教職員、在校生、同期会等に配布。

二月十五日 関東支部総会

塚本 清支部長はじめ会員六十余名の出席、来賓として関西支部と江津支部、島根県東京事務所等から多く

平成20年度 江工会一般会計決算書

【1】収入の部

費目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘要
1.繰越金	18,609	18,609	0	平成19年度一般会計より
2.会費・入会金	874,800	1,878,000	1,003,200	19年度81名、20年度92名(@900x12月)、過年度9,600
3.寄付金	10,000	20,000	10,000	関東支部より
4.繰入金	100,000	0	△ 100,000	
5.雑収入	1,591	15,736	14,145	預金利息、名簿販売(@3,000)、総会会計より¥10,000
合計	1,005,000	1,932,345	927,345	

【2】支出の部

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引	摘要
1.事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	185,000	15,000	会報43号発行(2,500部)
記念品費	25,000	39,690	△ 14,690	卒業生へ卒業証書用角筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	会館運営会計へ
2.管理費				
通信費	30,000	21,900	8,100	案内状、会報発送、他
旅費	350,000	266,240	83,760	支部訪問、他
会議費	170,000	133,448	36,552	支部総会出席
慶弔費	20,000	0	20,000	
雑費	40,000	17,680	22,320	広告料、他
3.積立金	0	0	0	
4.予備費	10,000	0	10,000	
合計	1,005,000	823,958	181,042	

収入総額 1,932,345円 - 支出額 823,958円 = 差引残額 1,108,387円

が出席。懇親会アトラクションでは、『南京玉すだれ』の古典民芸と面白いおしゃべり、『山崎ていじ』演歌歌手の飛び入り参加があり、大いに盛り上がりました。本部より室安会長・岩井教頭・沖田事務局長が出席。



関東支部総会

二月二十二日

山口県支部総会

吉崎錦明支部長はじめ会員三十六名の出席(担当Ⅱ山口地区)、来賓として九州支部から三名の出席。前支部長の上田博祥氏へ本部より感謝状の贈呈が行われた。懇親会ではアトラクションとして腹話術が行われ、大変に盛り上がり、最



江工会入会者(平成二十年
度卒業生九十三名)
江工会市役所支部 支部長
の池田 隆司氏(電気43年
卒)より「普通の生活が出
来る幸せ」

二月二十七日

新卒者入会式



山口県支部総会

後に応援歌、校歌を熱唱、
締めとなりました。
本部より室安会長・横坂清
事務局員が出席。

と題して
卒業を控
えた生徒
たちに、
自分の経
験を元に
「四つの愛
を大切に
して生活
していこ

四月二十四日 江津市役所
支部総会・役員改選
池田隆司支部長はじめ会員
約三十名の出席。二年の任
期を経て、支部役員の改選



弥栄支部総会

うと熱のこもった講話を頂
きました。
三月十五日 弥栄支部総会
三浦寛章支部長はじめ会員
十二名の出席。
今年、本部のスケジュー
ルの都合もあり、この時期
での開催となった。
懇親会では、名物の猪鍋や
どぶろくが振る舞われ、自
己紹介で盛り上がり、最後
は全員で応援歌や校歌を熱
唱し盛会でした。
本部より室安会長・岩井教
頭・横坂匠事務局員が出席。

平成21年度 江工会一般会計予算書

費 目	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
【1】収入の部				
1. 繰越金	1,108,387	18,609	1,089,778	平成20年度繰越金
2. 会費・入会金	961,200	874,800	86,400	平成21年度卒業生 89名×900円×12月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	100,000	△ 100,000	
5. 雑収入	413	1,591	△ 1,178	預金利息、等
合 計	2,080,000	1,005,000	1,075,000	
【2】支出の部				
1. 事 業 費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	185,000	200,000	△ 15,000	会報44号発行
記念品費	35,000	25,000	10,000	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
2. 管 理 費				
通信費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送、他
旅 費	350,000	350,000	0	支部訪問、他
会議費	170,000	170,000	0	本部総会・支部総会 出席
慶弔費	20,000	20,000	0	
雑 費	30,000	40,000	△ 10,000	広告料、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	1,100,000	10,000	1,090,000	会費積立会計の運用方法変更
合 計	2,080,000	1,005,000	1,075,000	

が行われ、新支部長として、
大井恭二氏(建築45年卒)
が選出された。その後、懇
親会に移り、アトラクショ
ンとして退職者の共演によ
る石見神楽が上演され、大
変に盛り上がり、最後に応
援歌、校歌を熱唱、締めと
なりました。

五月十六日

江工会理事会・総会

二十年度事業・決算報告、
二十一年度事業・予算審議。
すべての議案が承認された。
総会や懇親会に遠くは益田
市・浜田市・川本町から、
また 旧事務局員の出席な
どで、三十二名の出席があ
った。学校からは濱田校長・
舟木教頭・佐々岡総務部長
らの出席で親交を深めるこ

とができた。



理 事 会

六月六日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員六十余名の出席、来賓として関東支部から二名の出席。総会前に記念写真を撮影。懇親会では、昨年の関西支部総会のDVD映像が上映されるなか、近況や母校の思い出を和やかに語り合い、盛り上がり、最後に、応援歌や校歌の大合唱で大変な盛会でした。本部より室安会長・舟木教頭・高月事務局員が出席。



関西支部総会

十一月十三日 益田支部総会
田淵直徳支部長はじめ会員十九名の出席。総会前に記念写真を撮影。懇親会では、校歌BGMの流れるなか、近況や母校の思い出を和やかに語り合い、また当日に行われたゴルフコンペの表

彰式等で盛り上がりました。本部より室安会長・舟木教頭・岩田事務局員が出席。



益田支部総会

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員

- 寺本 清隆 (理科)
- 小田 顕彦 (工化)

会員

- 吉田 英隆 (電気 36 年卒)
 - 仲岡 仁志 (建築 54 年卒)
- ※事務局で把握できた方のみ記載しております。



永井 勝士氏
(昭和 36 年建築科卒)

瑞寶単光章を受章



本校を卒業し、茨城県でご活躍されています。

永井 勝士氏 が、平成二十一年度の秋の叙勲で、『瑞寶単光章』を受章されました。これは、江津工業高校OBでは二人目(藤井 浩史氏(昭和二十九年建築科卒)に続く)の快挙です。おめでとうございます。



編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。おかげさまで第四十四号を発行することができました。一面の写真は島の星山(星高山)から学校の周りを写したものです。このあたりは、江津市の都市計画で、「創造



『瑞寶単光章』

住友金属鹿島工場(茨城県) 筑波大学(茨城県) 美浦トレーニングセンター(茨城県) 福島原子力発電所(福島県) 受賞歴 平成十八年 国土交通大臣より顕彰状 平成二十一年 叙勲 瑞寶単光章

経歴

昭和三十六年 江津工業高等学校建築科卒業 昭和三十六年 大崎建設株式会社、その後昭和六十三年まで工事を担当 平成元年 大崎建設株高等職業訓練校 校長 平成九年 労務部部长 現在に至る 第一生命本社ビル (神奈川県)

【本人コメント】

身に余る光栄と心から感謝申し上げます。受章を機に、より一層業界発展のために邁進していく所存でございます。

の町」と呼ばれ、日本製紙の倉庫跡地に、病院、市民会館、老人ホーム、中学校、保育園、市営住宅など次々と建物が造られています。江津の街の風景は大きく変わりました。外見ばかりでなく、母校では、江津本町周辺の赤瓦の研究や保育園の前庭の制作、日本海からの強い風を利用した風力発電、発電した電気を使った電気自動車の製作など様々な創造を凝らし活動を続けています。ぜひ、ご覧ください。なお、今後とも、会報に對しましてご意見、情報等(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。